

一般会計予算額 69億3100万円

町がさまざまなサービスを行うために、お金を出す根拠となるものは「予算」と呼ばれます。予算には、さまざまな分野で使われる「一般会計」と、特定の目的のみに使われる「特別会計」があります。今年度のサービス・まちづくりがどのように行われるのか。そのあらましをご紹介します。

歳 出 歳 入

〈用語の説明〉

総務費……選挙や戸籍、徴税、町の庁舎管理などの経費

民生費……高齢者や障害者、児童などの福祉に関する経費

衛生費……各種検診や予防接種、ごみ処理などの経費

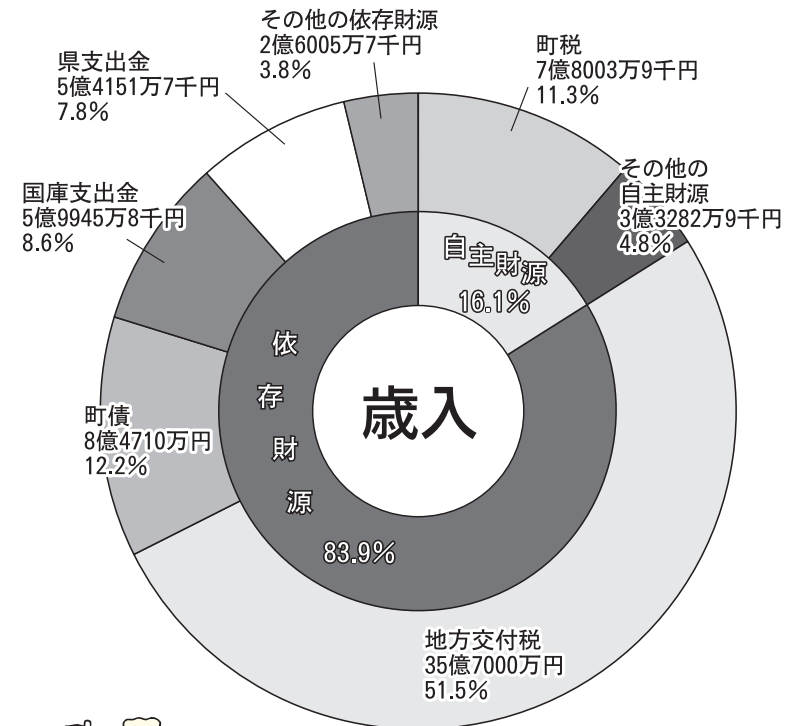
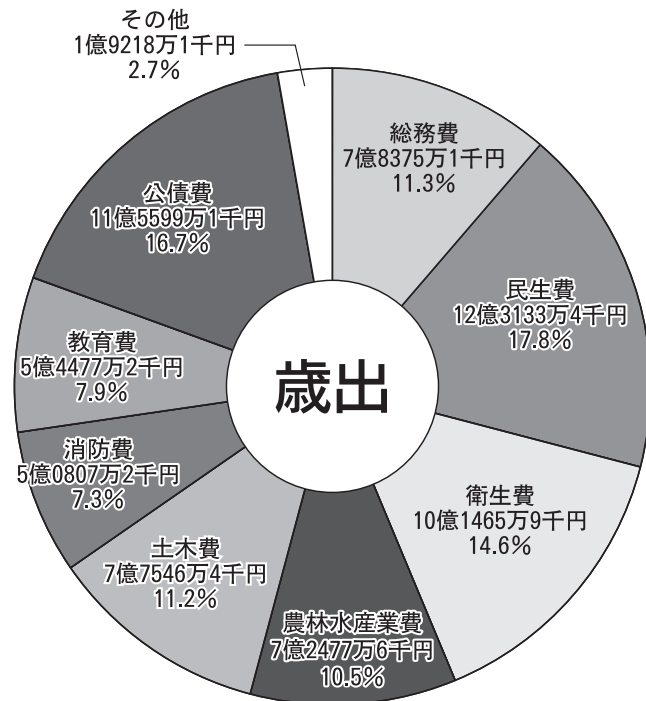
農林水産業費……農林水産業の振興、農業用道路や水路の整備、農村環境整備などの経費

土木費……道路整備、除排雪、町営住宅整備などの経費

消防費……五所川原地区消防事務組合の負担金や消防団員の報酬、消防機器の管理などの経費

教育費……小中学校の管理、社会教育、生涯学習・体育の振興、文化財保護などの経費

公債費……町の借金である町債の返済などの経費



〈用語の説明〉

自主財源……町が自主的に得る収入

依存財源……国、県から定められた額を交付されたり割り当てられたりする収入

町 税……町民の皆さまに納めていただく町民税や固定資産税などの税金

地方交付税……国から町に交付されるお金。国税である所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税の一定割合を町の財政力に応じて交付されます

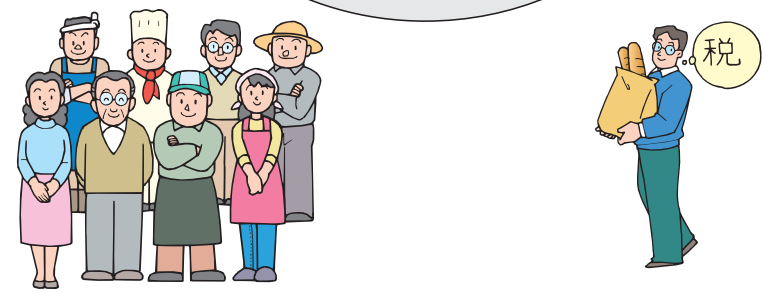
国庫支出金……特定の目的の事業のために国が補助するお金

県支出金……特定の目的の事業のために県が補助するお金

繰 入 金……積立金の取り崩しなどのお金

繰 越 金……前の会計年度から次の会計年度へ持ち越したお金

町 債……事業を行うために町が計画的に借りるお金



平成30年度はこんな事業を行います

- 子ども医療費無料化事業 (25,918千円)**
これまで中学校卒業までの子どもの医療費を無料にしていましたが、対象年齢を拡大して、高等学校等卒業(18歳に達する日以後の最初の3月31日)までの子どもの医療費が無料となります。
- 養殖推進プロジェクト事業 (22,000千円)**
マツカワガレイ、岩ガキ、ホタテガイの養殖、ナマコの幼生の放流を行い、漁業所得の安定化と向上を図ります。
- 津鉄ア・モーレ事業 (2,850千円)**
若手職員によるチーム「津鉄ア・モーレ」を結成し、津軽鉄道の活性化に向けて企画を立案・実行します。

- 中泊メバ活プロジェクト事業 (19,519千円)**
地方創生加速化交付金を活用し、中泊メバル膳の磨き上げやメバル料理グランプリの開催、メバル関連商品開発など、メバル推して地域の活性化を図ります。
- 集落支援員設置事業 (6,131千円)**
下前地区と折戸地区に集落支援員を配置し、地域住民と協力して課題や困っていることを調査し、解決に向けて活動していきます。
- 中里地区排水施設測量・調査事業 (15,387千円)**
中里地区の豪雨による冠水を防ぐため、排水路を整備するための測量調査をします。

- なかどまり魅力発信創作事業 (4,514千円)**
外国語に翻訳したパンフレットやSNSを活用し、外国人旅行者の誘客を図ります。

特別会計の予算額

		(単位：千円)			(単位：千円)
国民健康保険(事業勘定)		1,816,413	後期高齢者医療		266,945
国民健康保険(診療施設勘定)		147,358	水道事業	収益的収入	365,615
介護保険事業		1,604,836		収益的支出	312,086
農業集落排水事業		40,753		資本的支出	141,517
漁業集落排水事業		23,041			

医療保険や上・下水道など特定の目的のみに使われる特別会計は、6つあります。特に国民健康保険や介護保険、後期高齢者医療保険、水道事業など、町民の皆さまに身近なものが、特別会計で処理されています。